

Briefing Transcription

|| 2026年6月期第3四半期決算説明会文字起こし ||

株式会社タウンズ

197A 東証スタンダード市場

[企業情報はこちら >>>](#)

2026年5月20日(水)



FISCO Ltd.

<https://www.fisco.co.jp>

■ 目次

■ 決算を受けての FISCO アナリストコメント	01
■ 決算説明	02

■ 決算を受けての FISCO アナリストコメント

- ・タウンズは高い製品競争力、再現性のある開発を可能にする強固な開発体制、効率的な販売体制に強みを持つ。特に、販売においては塩野義製薬との協働（コ・プロ）で感染症対策において「予防→検査→治療」まで一気通貫のソリューションを提供し、ロシュとの販売提携（コ・マーケ）も稼働しており、主要呼吸器感染症の医療機関向け国内抗原検査キット市場におけるシェアでは、インフルエンザ、アデノウイルス、新型コロナで引き続きシェア1位、新型コロナ/インフルエンザコンボでもシェア3位を獲得している。重要性の増す新型コロナ/インフルエンザコンボの改善余地は残すものの、総じて高いシェアを獲得している。
- ・2026年6月期第3四半期は累計の売上高で前期比39.4%減の10,663百万円、営業利益で同62.4%減の3,509百万円と大幅減収減益となった。1-3月では、新型コロナの流行規模が小規模にとどまったことなどから、新型コロナ単品検査キットの売上高は前年同期比44.2%減の404百万円となっている。また、前年同期には卸売業者が市中在庫を積み増したのに対して、2026年1-3月に年末に卸売業者が確保した市中在庫の消化が進んだことなどにより、新型コロナ/インフルエンザコンボ検査キットの売上高は前年同期比74.4%減の805百万円、インフルエンザ検査キットの売上高は同45.3%減の642百万円となっている。
- ・昨年は例年より早い9月下旬からインフルエンザの流行が始まり、新型コロナウイルス感染症の流行も一定程度続いたことから、第2四半期会となる2025年10-12月は、同四半期として過去最高の売上高を達成した。一方で、第3四半期となる2026年1-3月は、感染症の流行規模が当初の想定よりも小規模であったことから、2026年6月期の業績予想は下方修正されている。売上高で前期比19.2%減の15,048百万円、営業利益で同4,368百万円2026年6月通期の新たな予想となる。なお、従来予想は売上高で20,769百万円、営業利益で8,323百万円。
- ・類似企業と目される栄研化学<4549>のPERは45倍、配当利回り2%、ROE8.5%に対して、タウンズのそれは9倍、5.63%、40.7%と乖離が大きい。業績が大きく振れるのは懸念材料であり、それを許容しない投資家も一定数存在するだろうが、その分だけ配当が高く、しかも累進とあって、株価の支えとして機能する。高いシェアを維持、累進配当が継続するにつれて、数倍程度の改善余地があると想定される株価の水準も訂正される可能性はある。

■ 決算説明

2026年6月期 第3四半期
 決算説明資料

株式会社タウンズ (証券コード: 197A)

2026年5月14日



01. 会社・事業概要	P.02
02. 2026年6月期第3四半期決算概要	P.11
03. 2026年6月期 業績予想	P.22
04. Appendix.	P.29

株式会社タウンズ | 2026年5月20日(水)
197A 東証スタンダード市場

決算説明

会社概要

社名	株式会社タウンズ [英語名: TAUNS Laboratories, Inc.]		
代表者	代表取締役社長 野中 雅貴		
創業年月 設立年月*	1987年4月 2016年4月 (*グループの再編に伴う現法人の設立年月)		
本社所在地	静岡県伊豆の国市神島761番1		
資本金 (2025年12月31日時点)	392百万円		
役員構成 (2025年12月31日時点)	代表取締役社長 野中 雅貴 取締役 内山 義雄 取締役 永井 淳平 取締役 伊藤 政宏	社外取締役 三品 聡範 社外取締役 千葉 理 監査役 遠藤 佳季 社外監査役 中川 真紀子 社外監査役 Caroline F. Benton	
株主構成 (2025年12月31日時点)	CITIC CAPITAL JAPAN PARTHERS III, L.P. 39.20% 野中 雅貴 29.35%		
事業内容	体外診断用医薬品、研究用試薬等の開発、製造及び販売・輸出入 主要製品は感染症の抗原検査キット		
売上規模	18,627百万円 (2025年6月期)		
従業員数	382名 (2026年3月31日時点)		
総資産	41,447百万円 (2026年3月31日時点)		
拠点	本社・神島工場、富士山三島工場、清水町事業所・R&Dセンター、東京オフィス		
子会社	クレアボ・テクノロジーズ株式会社		
主な取引先	スズケン、ロシュ・ダイアグノスティクス他		



本社・神島工場



清水町事業所・R&Dセンター



富士山三島工場

©TAUNS Laboratories, Inc.

経営理念

私たちタウンズは、独自の体外診断用医薬品により、人々の生活に安心と潤いを届けます。
そのために、技術・知識を集積し、新たな製品の開発、品質改善に取り組み続けます。

診断技術で、安心な毎日を。

何気なく過ぎていくあたりまえの毎日も。
いつもとは違う特別なひとときも。
支えているのは、揺るぎない安心。
私たちタウンズは、独自の診断技術を追求し、
疾病の診断、早期発見のお手伝いをしています。
ひとりひとりの不安を取りのぞくことで、
世界中で未来への見通しをよくすることで、
安心な毎日を支え続けます。

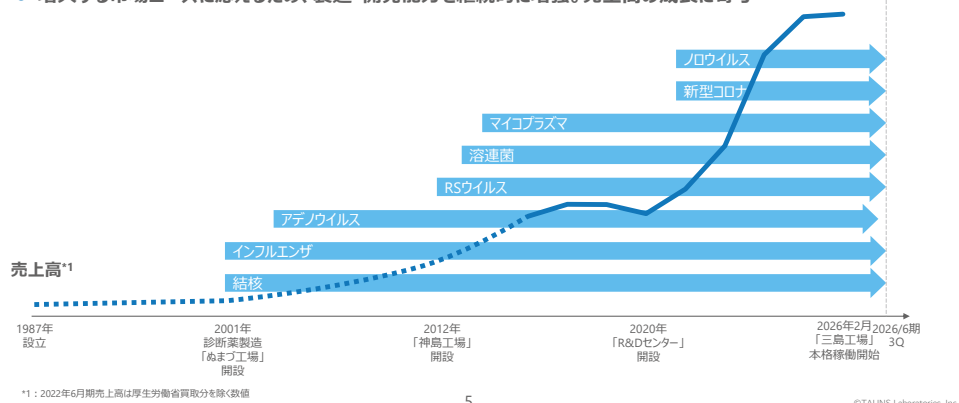
©TAUNS Laboratories, Inc.

株式会社タウンズ | 2026年5月20日(水)
197A 東証スタンダード市場

決算説明

沿革

- 2000年代初頭から、豊富な抗原検査のラインナップを順次展開
- 増大する市場ニーズに応えるため、製造・開発能力を継続的に増強。売上高の成長に寄与



5

事業内容

- 主に、感染症臨床検査用の抗原検査キットを開発・製造。インフルエンザを始め、アデノウイルスや新型コロナウイルスなど多くの感染症項目において「イムノエース」ブランドの製品を展開

主な製品群

感染症領域

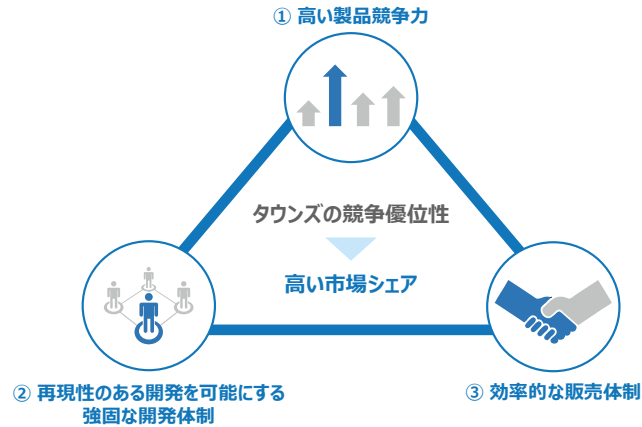


6

©TAUNIS Laboratories, Inc.

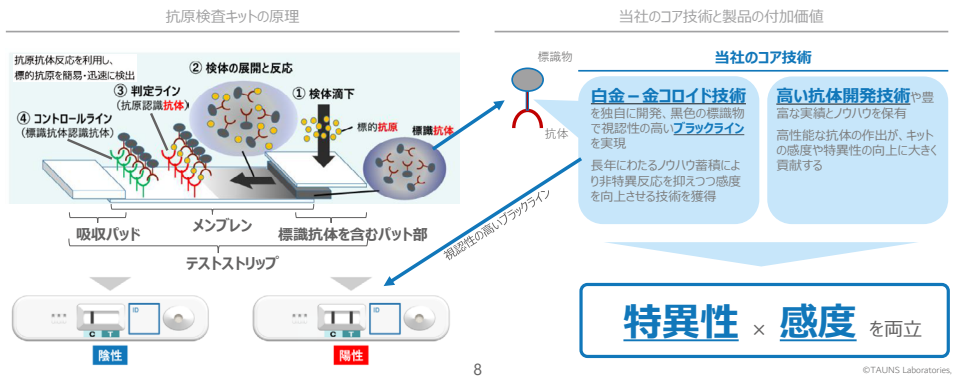
決算説明

タウンズの3つの競争優位性



抗原検査キットの原理・当社技術の強み

- 数多くの自社抗体の開発実績（特許化含む）や、独自技術である白金-金コロイドなど高い技術力を有する
- 技術力を活かし、特異性と感度を両立した高品質な製品を開発。さらには複数感染症間の幅広い検体共用の実現など、医療現場と患者双方にとって価値の高い製品を供給している



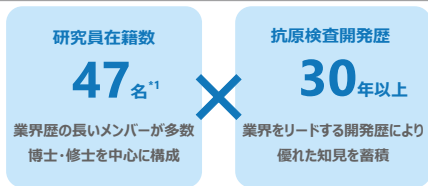
株式会社タウンズ | 2026年5月20日(水)
197A 東証スタンダード市場

決算説明

再現性のある開発を可能にする強固な開発体制

- 豊富な業務経験と高度かつ多様な専門性を有する開発チームが、開発活動を牽引
- 長年の研究開発を通して社内に蓄積されたノウハウに加え、社外からも知見を得ることで迅速かつ革新的な開発を実現

長年の経験と豊富な実績を有する開発チーム

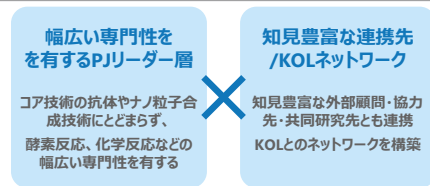


豊富な開発実績

- ✓ キャピリアTBやMAC抗体など「世界初」の製品開発実績
- ✓ 白金・金コロイド等の独自技術の開発実績
- ✓ 多くの自社抗体の開発実績（マイコプラズマおよび結核菌群に対する抗体は特許取得済み、その他特許出願中の抗体あり）

*1 研究員の在籍数は2026年3月末時点（正社員）。

専門性の高いPIリーダーと外部機関との連携



協力先・技術顧問・共同研究先のKOL

大倉一郎先生 東京科学大学 名誉教授	御手洗聡先生 結核予防会結核研究所 抗酸菌部 部長	河岡義裕先生 東京大学国際高等研究所 新世代感染症センター 拠点長
---------------------------------	--	--

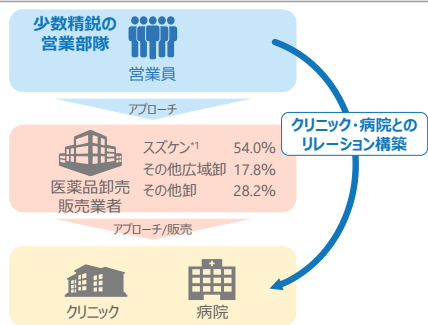
9

©TAUNS Laboratories, Inc.

商流と営業体制

- 少数精鋭の営業員が、卸業者と強固な協力関係を構築。主要な感染症抗原検査キットで国内トップクラスのシェアを獲得
- 塩野義製薬との協働（コ・プロ）により、感染症対策において「予防→検査→治療」まで一貫通貫のソリューションを提供。クリニックに強い塩野義の販売力と、病院に強い当社営業員のシナジーにより、国内感染症POCT市場での地位を更に強固にする
- 加えて、ロシユとの販売提携（コ・マーケ）により、コンボ検査キットを中心にさらなるシェアアップを図っている

少数精鋭の営業部隊が医薬品卸業者と強力に連携



*1 2024年2月に合併した神宮薬品株式会社を含む

塩野義製薬との協働による更なる販売力強化



塩野義製薬の強力な販売体制と連携
国内感染症POCT市場での確固たる地位を確立

*1 現状における対象の感染症は、新型コロナウイルス・インフルエンザ
*2 コ・プロモーション：複数（通常2社）の製薬企業にて、同一医薬品を同一ブランドで並行して販売（並行販売）すること
*3 コロナワクチンにおいて薬事承認取得（出所：塩野義製薬株式会社 2024年6月24日プレスリリース）

10

©TAUNS Laboratories, Inc.



INDEX



01. 会社・事業概要	P.02
02. 2026年6月期第3四半期 決算概要	P.11
03. 2026年6月期 業績予想	P.22
04. Appendix.	P.29

2026年6月期第3四半期 ハイライト



- ✓ 当第3四半期累計期間における国内抗原検査キット市場の推計規模は、前年同期比で、流行規模縮小の影響により新型コロナ単品検査キットが約3割減少した一方で、インフルエンザ検査キットは約2割増加、新型コロナ/インフルエンザコンボ検査キットは概ね前年同期並みで推移した
- ✓ 当社の主要製品の市場シェアは概ね堅調に推移したものの、当社シェアが42%と高い新型コロナ単品検査キットの市場規模が減少した一方で、相対的に重要性を増した新型コロナ/インフルエンザコンボ検査キットにおける当社シェアは19%にとどまっている。来年度に向けては新型コロナ/インフルエンザコンボ検査キットの改良品のローンチなどによるシェア拡大を見込む
- ✓ 前年同期においては卸売業者が当社抗原検査キットの市中在庫を積み増したのに対して、当第3四半期累計期間においてはその反動により市中在庫の消化が進行した。この影響で、市場規模が堅調であったインフルエンザ検査キット及び新型コロナ/インフルエンザコンボ検査キットにおいても、当社の売上高は前年同期比で減少した
- ✓ 当第3四半期累計期間の主要製品別売上高は、新型コロナ単品検査キットが前年同期比44.4%減、インフルエンザ検査キットが同31.1%減、新型コロナ/インフルエンザコンボ検査キットが同46.0%減となった
- ✓ この結果、当第3四半期累計期間の売上高は10,663百万円（前年同期比39.4%減）、営業利益は3,509百万円（同62.4%減）、経常利益は3,344百万円（同64.0%減）、四半期純利益は2,443百万円（同63.2%減）となった
- ✓ 当第3四半期会計期間の売上高は前年同期比57.6%減の2,386百万円となったものの、足元の卸売業者からの引き合いや、市中在庫の消化が進んだことなどに鑑み、2026年3月30日に公表した変更後の通期業績予想を維持する

株式会社タウンズ | 2026年5月20日(水)
197A 東証スタンダード市場

決算説明

2026年6月期 第3四半期累計期間の業績

- 当第3四半期累計期間の売上高は、前年同期比39.4%減の10,663百万円となった。これは、新型コロナ単品検査キットの市場規模が前年同期比で約3割減少したことに加え、前年同期においては卸売業者が当社抗原検査キットの市中在庫を積み増したのに対して、当第3四半期累計期間においてはその反動で市中在庫の消化が進んだことなどによるものである
- 売上高の減少により、売上総利益は前年同期比44.5%減、営業利益は同62.4%減、経常利益は同64.0%減、四半期純利益は同63.2%減となった。各段階損益率も前年同期を下回った

(百万円)	2024/6期3Q		2025/6期3Q		2026/6期3Q		
	実績	利益率	実績	利益率	実績	利益率	前期比
売上高	16,371	-	17,607	-	10,663	-	-39.4%
売上総利益	11,310	69.1%	12,685	72.0%	7,041	66.0%	-44.5%
営業利益	8,226	50.2%	9,330	53.0%	3,509	32.9%	-62.4%
経常利益	8,249	50.4%	9,296	52.8%	3,344	31.4%	-64.0%
当期利益	5,906	36.1%	6,645	37.7%	2,443	22.9%	-63.2%
EBITDA	8,226	50.2%	9,864	56.0%	4,237	39.7%	-57.0%

13

©TALUNS Laboratories, Inc.

主要製品別の売上高 (2026年6月期第3四半期累計期間)

- 当第3四半期累計期間においては、新型コロナ単品検査キットの市場規模が前年同期比で約3割減少したことに加え、前年同期においては卸売業者が当社抗原検査キットの市中在庫を積み増したのに対して、当第3四半期累計期間においてはその反動で市中在庫の消化が進んだことなどから、主要製品の売上高はいずれも前年同期を下回った

(百万円)	2024/6期3Q		2025/6期3Q		2026/6期3Q		
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	前期比
新型コロナ単品検査キット	3,957	24.2%	4,671	26.5%	2,596	24.4%	-44.4%
新型コロナ/インフルエンザ コンボ検査キット	6,041	36.9%	7,728	43.9%	4,172	39.1%	-46.0%
インフルエンザ検査キット	3,866	23.6%	3,253	18.5%	2,240	21.0%	-31.1%
その他 (アデノ・溶連菌、RSなど)	2,505	15.3%	1,954	11.1%	1,654	15.5%	-15.4%
合計	16,371		17,607		10,663		-39.4%

14

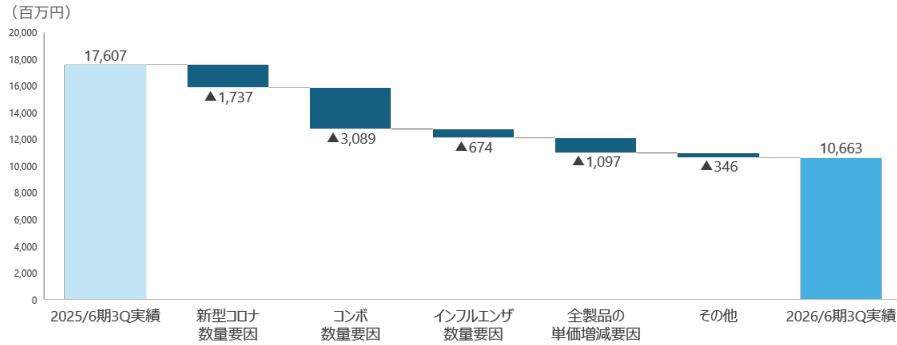
©TALUNS Laboratories, Inc.

株式会社タウンズ | 2026年5月20日(水)
197A 東証スタンダード市場

決算説明

前期比売上高の増減要因

- 売上高減少の主因は、新型コロナ単品検査キットおよび新型コロナ/インフルエンザコンボ検査キットの販売数量の減少によるものである
- 一方で販売単価の下落は、期初想定範囲内で推移した

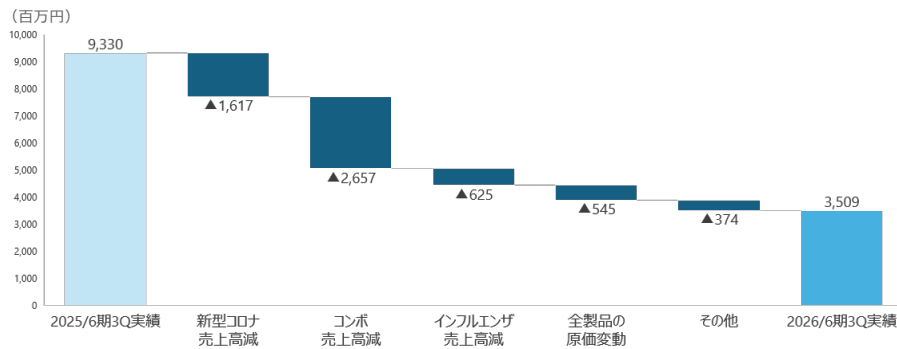


15

©TAUNUS Laboratories, Inc.

前期比営業利益の増減要因

- 主に新型コロナ単品検査キット、並びに、新型コロナ/インフルエンザコンボ検査キットの売上高が大幅に減少したことにより、営業利益は減益となった



16

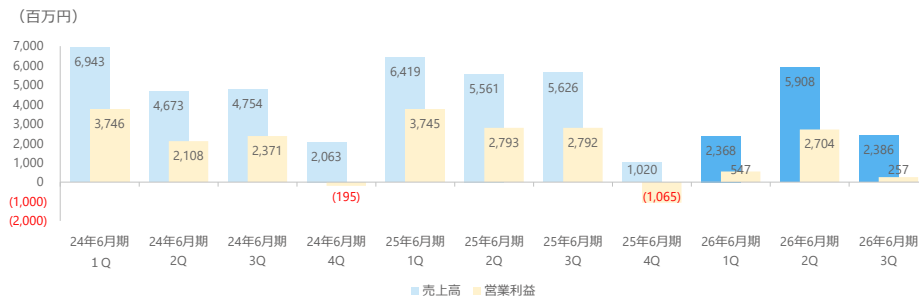
©TAUNUS Laboratories, Inc.

株式会社タウンズ | 2026年5月20日(水)
197A 東証スタンダード市場

決算説明

四半期毎売上高・営業利益推移

- 当第3四半期会計期間（1月～3月）の四半期売上高は前年同期比57.6%減の2,386百万円となった。これは、インフルエンザの流行は継続したものの新型コロナの流行が前年同期を下回ったことに加え、前年同期には卸売業者が当社抗原検査キットの市中在庫を積み増したのに対して、当第3四半期会計期間においては年末に卸売業者が確保した市中在庫の消化が進んだことなどによるものである
- 売上高の減少に加え、人員増強や減価償却費の増加などにより、当第3四半期会計期間の営業利益は前年同期比90.8%減の257百万円となった



17

©TAUNS Laboratories, Inc.

主要製品別の売上高 四半期間（1-3月）

- 当第3四半期会計期間においては、新型コロナの流行規模が小規模にとどまったことなどから、新型コロナ単品検査キットの売上高は前年同期比44.2%減の404百万円となった
- 前年同期には卸売業者が市中在庫を積み増したのに対して、当第3四半期会計期間においては年末に卸売業者が確保した市中在庫の消化が進んだことなどにより、新型コロナ／インフルエンザコンボ検査キットの売上高は前年同期比74.4%減の805百万円、インフルエンザ検査キットの売上高は同45.3%減の642百万円となった

(百万円)	2024/6期3Q		2025/6期3Q		2026/6期3Q	
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比
新型コロナ単品検査キット	914	19.2%	725	12.9%	404	17.0%
新型コロナ/インフルエンザコンボ検査キット	1,831	38.5%	3,148	56.0%	805	33.8%
インフルエンザ検査キット	1,177	24.8%	1,173	20.8%	642	26.9%
その他	831	17.5%	579	10.3%	533	22.4%
合計	4,754		5,626		2,386	

18

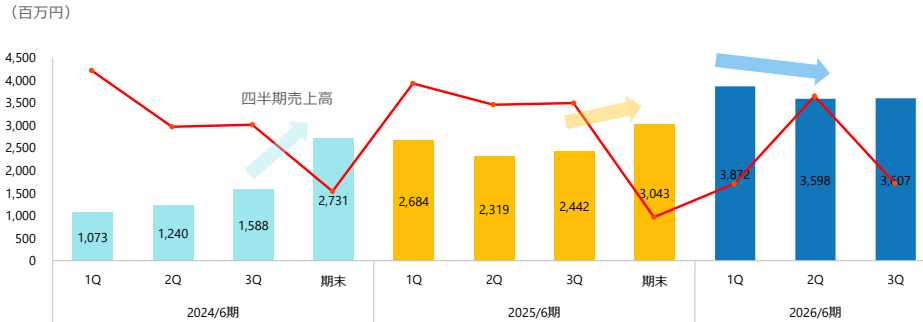
©TAUNS Laboratories, Inc.

株式会社タウンズ | 2026年5月20日(水)
197A 東証スタンダード市場

決算説明

在庫水準の推移

- 当第3四半期末の在庫は、十分な水準を確保しており、突発的な流行発生にも対応可能な状態を維持している

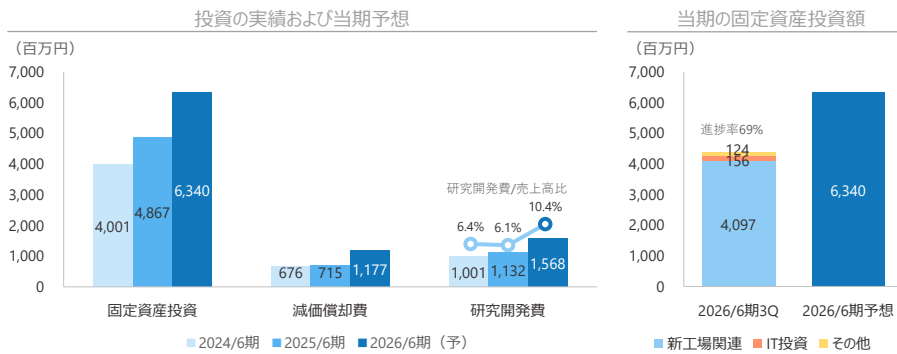


19

©TAUNS Laboratories, Inc.

投資の状況

- 当期の固定資産投資額（有形固定資産、無形固定資産）は、63.4億円を見込む
- 大半を占める新工場関連の設備投資に加えて、新ERPなどのIT投資、設備更新などの必要な投資に取り組んでいる



20

©TAUNS Laboratories, Inc.

株式会社タウンズ | 2026年5月20日(水)
197A 東証スタンダード市場

決算説明

貸借対照表

(百万円)	2025/6期3Q	2025/6期	2026/6期3Q	(百万円)	2025/6期3Q	2025/6期	2026/6期3Q
流動資産	18,753	15,476	16,342	流動負債	10,849	9,529	11,937
現金及び預金	8,580	9,266	5,890	買掛金	1,296	1,199	631
売掛金	4,975	247	2,107	短期借入金	4,500	4,500	7,500
商品及び製品	2,442	3,043	3,607	1年内返済予定の長期借入金	831	1,114	1,783
仕掛品	1,161	1,515	2,076	未払法人税等	1,547	842	89
原材料及び貯蔵品	1,409	1,324	1,369	未払消費税等	542	101	0
その他	183	78	1,290	その他の流動負債	2,131	1,771	1,932
固定資産	18,881	21,038	25,105	固定負債	9,113	9,567	13,200
有形固定資産	12,151	12,279	15,449	長期借入金	8,300	8,809	12,422
無形固定資産	3,865	3,836	3,686	繰延税金負債	620	556	556
投資その他の資産	2,863	4,922	5,969	その他の固定負債	193	202	221
資産合計	37,635	36,515	41,447	負債合計	19,963	19,097	25,138
				純資産合計	17,672	17,417	16,308
				負債純資産合計	37,635	36,515	41,447

*1 投資その他の資産の増加は、投資有価証券の増額によるもの

21

©TAUNS Laboratories, Inc.

INDEX

01. 会社・事業概要	P.02
02. 2026年6月期第3四半期決算概要	P.11
03. 2026年6月期 業績予想	P.22
04. Appendix.	P.29

22

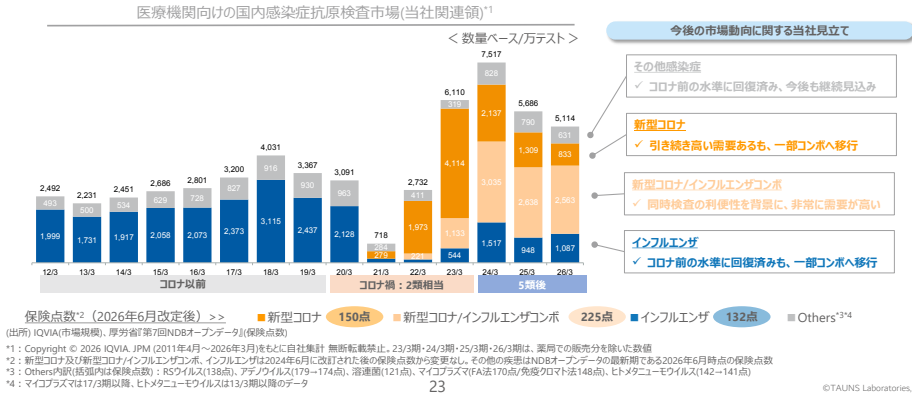
©TAUNS Laboratories, Inc.

株式会社タウンズ | 2026年5月20日(水)
197A 東証スタンダード市場

決算説明

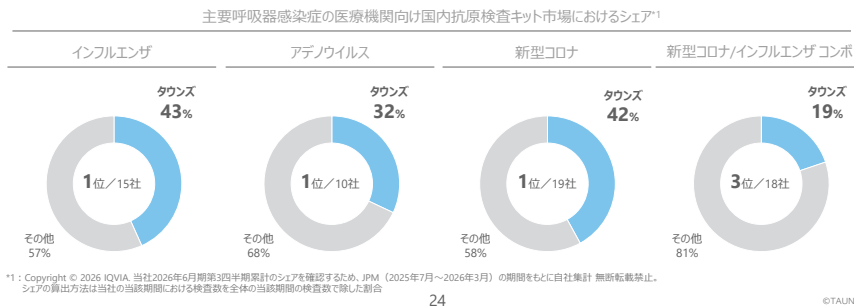
コロナ禍を経て拡大した、医療機関向け国内抗原検査キット市場

- 医療機関向け国内抗原検査キットの市場規模は、コロナ禍以前はインフルエンザ検査を中心に年間30百万テスト前後で推移
- コロナ禍を経て新型コロナウイルス単品検査とコンボ検査が定着したことで、市場規模は24/3には年75百万テストと大幅に拡大した。26/3においては新型コロナウイルス単品検査の数量が減少した一方で、コンボ検査の構成比が50%を超えた



市場シェアと拡大余地

- 当社は、インフルエンザ、アデノウイルス及び新型コロナウイルスの各検査キットにおいてトップシェアを堅持
- 新型コロナ/インフルエンザコンボ検査キットについては、当社の市場シェアは堅調に推移しているものの、競合他社のシェアの伸長により前期の2位から3位へ後退している
- 重要性を増すコンボ検査キットにおけるシェア拡大を当社の重要課題と認識。来年度に向けてはコンボ検査キットの改良品のローンチなどによるシェア拡大を見込む



株式会社タウンズ | 2026年5月20日(水)
197A 東証スタンダード市場

決算説明

業績予想

- 2026年3月30日に、通期業績予想の変更を公表
- 特別利益として新工場に係る補助金収入を見込む

(百万円)	25年6月期 予想 ①	25年6月期 実績 ②	26年6月期 予想 ③	増減 ③/②	利益率
売上高	19,273	18,627	15,048	80.8%	-
営業利益	8,308	8,265	4,368	52.8%	29.0%
経常利益	8,316	8,219	4,127	50.2%	27.4%
当期利益	6,019	6,315	5,692	90.1%	37.8%

25

©TAUNUS Laboratories, Inc.

業績予想の進捗

- 当第3四半期累計期間の売上高の進捗率は70.9%にとどまるも、足元の卸売業者からの引き合い状況や、市中在庫の消化が進んだことなどに鑑み、2026年3月30日に公表した変更後の通期業績予想を維持する

(百万円)	2025/6期			2026/6期		
	通期実績	3Q実績	進捗率	通期予想	3Q実績	進捗率
売上高	18,627	17,607	94.5%	15,048	10,663	70.9%
営業利益	8,265	9,330	112.9%	4,368	3,509	80.3%
経常利益	8,219	9,296	113.1%	4,127	3,344	81.0%
当期利益	6,315	6,645	105.2%	5,692	2,443	42.9%

26

©TAUNUS Laboratories, Inc.

株式会社タウンズ | 2026年5月20日(水)
197A 東証スタンダード市場

決算説明

株主還元

- 当社は2026年6月期以降において28円を起点とした累進配当を導入している。これに伴い、中間配当と期末配当の金額の配分について、従来の方針を昨年11月に変更している

(円)	中間配当	期末配当	年間配当	備考
2024/6期	6.00	21.75 ^{*1}	27.75 ^{*1}	東証スタンダード市場への上場を記念して、1株当たり11円10銭の特別配当を実施
2025/6期	6.00	22.00 ^{*2}	28.00 ^{*2}	当社設立10期目を迎えるため、期末に1株10円00銭の周年記念特別配当を実施予定
2026/6期 (2025年8月13日 発表予想)	6.00	22.00	28.00	26年6月期から開始する中期経営計画期間において28円を起点とする累進配当を導入
2026/6期 (2025年11月14日 修正予想)	14.00	14.00	28.00	修正予想。年間配当は不変

^{*1}:うち、上場記念配当11.10円

^{*2}:うち、法人設立10周年記念配当10.00円を予定

27

©TAUNS Laboratories, Inc.

INDEX

01. 会社・事業概要	P.02
02. 2026年6月期第3四半期決算概要	P.11
03. 2026年6月期 業績予想	P.22
04. Appendix.	P.29

28

©TAUNS Laboratories, Inc.

決算説明

抗原定性検査キットの評価要素分解

● 抗原定性検査キットの主たる評価要素は以下の通り。当社は、検査精度の高さなどで競争優位性を確立

<p>検査精度（感度・特異度）</p> <ul style="list-style-type: none"> 感度（陽性者を陽性と判定する割合） 特異度（陰性者を陰性と判定する割合） 感度と特異度はトレードオフの関係にあり、高い次元での両立は難しいものの、当社はそれを独自の技術で実現できている 	<p>コスト（製品価格）</p> <ul style="list-style-type: none"> 保険点数の範囲内で希望小売価格（各社開示）を設定 実勢価格（各社非開示）は希望小売価格から、卸業者への割戻などを控除したもの 例：新型コロナ抗原定性検査の保険点数が150点＝1500円に対し当社希望小売価格は1400円 	<p>判定時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 各メーカー/製品によって異なるが、抗原定性検査は一般にPCRなどより早く結果が出る 当社製品ではインフルエンザ検査キットが5分、新型コロナ単品検査キットが10分、コンボ検査キットは15分となっている
<p>有効期間</p> <ul style="list-style-type: none"> 経年劣化を助長しながら、長期保存が可能となるように処方設計を行っている 当社製品の有効期間はインフルエンザウイルス検査キットが27か月、新型コロナウイルス検査キットが18か月、インフルエンザウイルス/新型コロナウイルスコンボ検査キットが12か月 	<p>検体種</p> <ul style="list-style-type: none"> 主な検体種は鼻咽頭ぬぐい液、鼻腔ぬぐい液、咽頭ぬぐい液など 検体種によって検査精度と侵襲性（患者の負担）に差が生じる。検査精度の高さと侵襲性の低さはトレードオフの傾向にある 	<p>手技の簡便性</p> <ul style="list-style-type: none"> 熟達した検査技師でなくとも手軽に検査出来ること、特にクリニックでは重視される 抗原検査は一般にPCRなどより操作ステップが少なく、目視判定が可能な簡便な検査手法

日本における新型コロナの検査需要の見通し

- 新型コロナは、インフルエンザ対比で、強い感染力、免疫獲得の困難さ、年に複数回流行する等の特徴を有する
- 循環器系基礎疾患との合併症等によるコロナ関連死亡者も継続して発生しており、今後も強い検査需要が想定される

	インフルエンザ	新型コロナ
<p>新型コロナの感染定着が見込まれる背景</p>	<p>感染力</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナ対比で感染力は弱い 伝播性を示す指標である基本再生産数 (R_0)^{*1}では、インフルエンザは1.3程度 	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザ対比で感染力は強い 初期株の武漢株でもR_0は3.0程度であり、それ以降の変異株においてのR_0はさらに高い水準が続いている状況
	<p>免疫減弱の速度／免疫逃避株の発生</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎年流行株あり。ワクチン・感染による免疫獲得が可能であり、1人が1シーズン^{*2}に繰り返し感染する事例は少ない 	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザ対比で免疫減弱の速度、免疫逃避株の発生が速い 1年間に複数回感染する可能性あり
	<p>流行時期</p> <ul style="list-style-type: none"> 冬期に流行することが通例 	<ul style="list-style-type: none"> 年に複数回の流行が発生する傾向にある
<p>新型コロナの検査需要が見込まれる背景</p>	<p>致死率／死亡者数</p> <ul style="list-style-type: none"> 致死率は一定存在 例年の国内における年間死亡者数は推定1万人程度 	<ul style="list-style-type: none"> 致死率は一定存在し、特に循環器系との合併症による死亡例が多く存在 国内における2023年の死亡者数は約5.0万人^{*3}

(出所) 新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーチーム「新型コロナウイルス感染症の特徴と中・長期的リスクの考え方」, 厚労省HP「新型コロナウイルスに関するQ&A」

*1: 基本再生産数 (R_0) は、ある感染症に対して全く免疫を持たない集団の中で、1人の感染者が平均して何名の二次感染者を発生させるかを推定した値

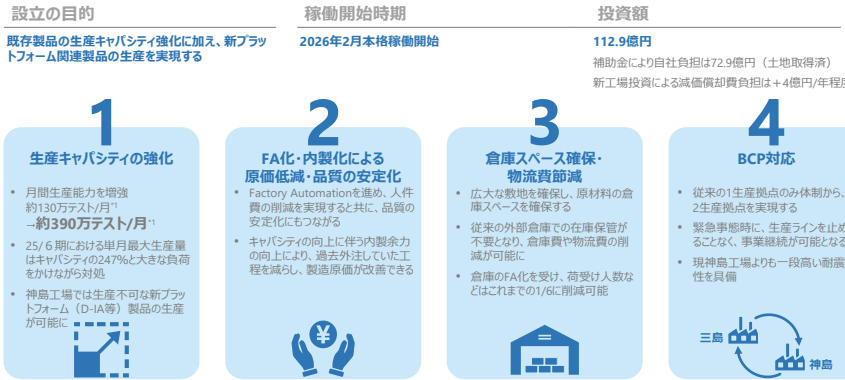
*2: インフルエンザは、例年感染が拡大する9-4月をシーズンと厚労省にて定義

*3: 死亡診断書（死体検案書）の情報を元にしたCOVID-19関連死亡数（1またはII欄）

決算説明

新工場設立により強化される生産体制

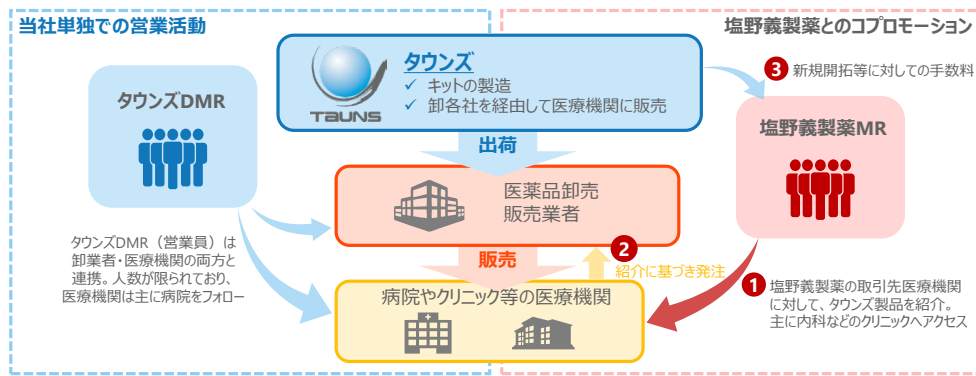
- 2026年2月に新工場である富士山三島工場（静岡県三島市）が本格稼働開始。成長の基盤となる生産能力を強化するとともに、FA化や内製化による品質の安定化、コストの低減を図りつつ、BCP体制を強化



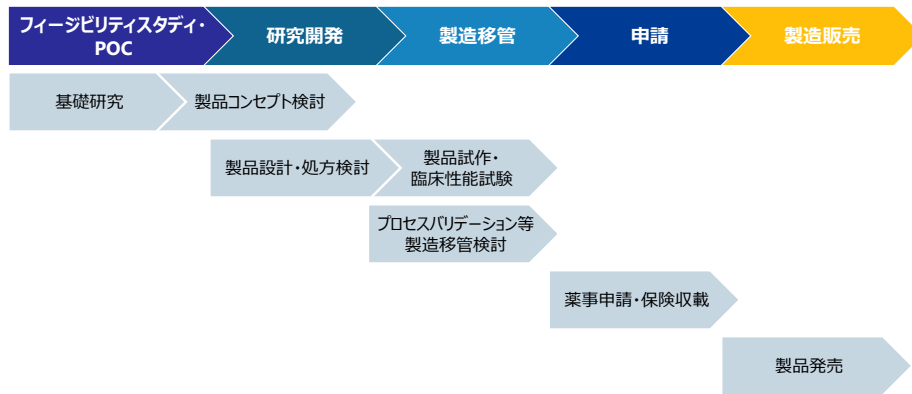
*1：月間生産能力は、平日昼間のみの稼働且つ外部委託を最小化した場合の見込み数量を計算して記載

当社の商流と塩野義製薬との協働

- 塩野義製薬は当社製品を医療機関に紹介し、認知獲得に貢献いただいている
- 医療機関は当社製品を卸売販売業者に発注、タウンズは塩野義製薬に対して貢献に応じた手数料を支払う



製品ローンチまでの流れ



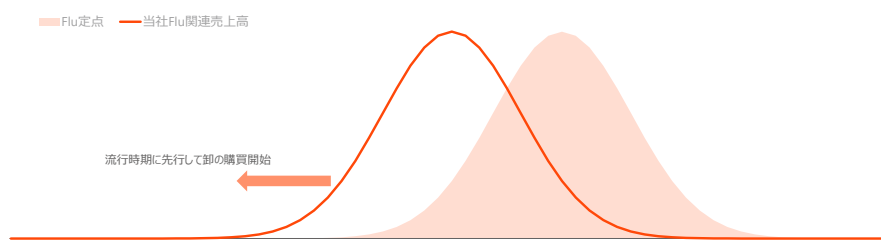
33

©TAUNS Laboratories, Inc.

感染症の流行時期と当社収益（イメージ）

- インフルエンザなどの季節性のある感染症については、流行ピークに先行して卸各社による購入（≒当社売上計上）が行われる傾向にある
- 季節性の呼吸器感染症は、流行開始やピークに達する時期は前後することがあり、流行時期によって当社収益もピークの時期が前後する

感染症流行時期と当社収益（イメージ図）



34

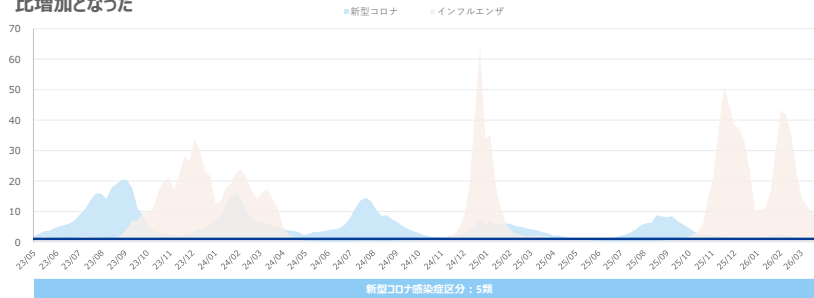
©TAUNS Laboratories, Inc.

株式会社タウンズ | 2026年5月20日(水)
197A 東証スタンダード市場

決算説明

5類移行後の新型コロナとインフルエンザの流行状況

- 新型コロナの定点当たり報告数*によれば、感染流行の拡大と縮小を繰り返しつつも、一定程度の感染は継続している
- 2026年6月期第3四半期累計期間（2025年7月～2026年3月）における新型コロナの流行水準は前年同期比減少した一方で、インフルエンザについては、例年より早めの9月頃から流行期入りし、流行水準は前年同期比増加となった



1.0
インフルエンザの
「流行期」目安

【出所】厚労省「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の発生状況についておよびインフルエンザに関する報道発表資料」
*：定点当たり報告数とは、すべての定点医療機関からの週次の患者報告数を定点数で割った上で、1医療機関当たりの週次の平均感染者報告数、全国の定点当たり報告数を表示

35

©TAUNUS Laboratories, Inc.

免責事項

- 本資料は、金商法や東証ルール等に規制される開示資料ではありません。投資家への情報提供を目的としており、一切の投資勧誘又はそれに類する行為を目的としたものではありません。また、本資料は、投資家の皆様に対して当社の業績等に関する情報を提供することを目的として開示されており、医療関係者や患者様等の投資家以外の方による前記の目的以外での利用を禁止します。
- 本資料は、表紙に記載の日付現在において有効な経済、規制、市場及びその他の条件に基づいており、当社として本資料の情報が正確又は完全であることを保証するものではありません。今後の動向が本資料に含まれる情報に影響を与える可能性があります。当社は本資料に含まれる情報を更新、改訂又は確認する義務を負いません。本資料に含まれる情報は、事前に通知することなく変更されることがあり、当該情報の変更が重大なものとなる可能性もあります。
- 本資料に記載されているデータ・記載・情報等は、公知の情報を除き、一切の無断転載を禁止します。
- 本資料に記載した将来予想に関する記述は、現時点の見通しであり、将来の業績やその実現について当社の経営陣が保証していることを示すものではありません。当該将来情報は、様々な要因により、将来予想に関する記述により表示又は示唆されている将来の業績又は財務状態から大きく乖離する可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない概算数値を含むことを予めご了承ください。
- 本資料は、投資家の皆様が自己のご判断と責任においてご利用されることを前提として作成・開示しており、いかなる目的で利用される場合においても、その結果生じたいかなる損害に対しても、当社は一切の責任を負いかねます。

36

©TAUNUS Laboratories, Inc.

重要事項（ディスクレマー）

株式会社フィスコ（以下「フィスコ」という）は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したのですが、フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受け、企業から報酬を受け取って作成されています。本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかなを問わず、いかなる責任も負いません。

本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは堅く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

■お問い合わせ■

〒107-0062 東京都港区南青山 5-13-3

株式会社フィスコ

電話：03-5774-2443（IR コンサルティング事業本部）

メールアドレス：support@fisco.co.jp